

「藤島地域小中学校整備検討委員会」の委員5人公募

鶴岡市教育委員会は21日、「藤島地域の小中一貫校（義務教育学校）整備」について、公募による委員募集を市HPに告知しました。地域の議論を推進し、藤島地域住民の意向を把握するため、「藤島地域小中学校整備検討委員会」を設置するとしています。

応募資格4点全て

応募資格は、「次の全てにあてはまる方」で、
1. 令和6年4月1日現在において年齢が満18歳以上である方

2. 藤島地域に住所を有する方又は藤島地域の幼稚園保育園・小中学校へ通う子の保護者

3. 小中一貫校（義務教育学校）整備の検討に意欲のある方
4. 平日の夜間に開催する会議に出席が可能である方

募集人数は5名以内で、委員会は3〜4回程度開催。
「住民の意向を把握するため」としながら、「整備の検討に意欲のある方」と、「小中一貫校ありき」が含まれているのが気になります。

広く影響を考える

ミクロ的視点では、学校を一つにすれば効果的で、財政的にも合理的だという判断があります。
広く影響を考えるマクロ的な視点では、どんな藤島になるのかの地域イメージ。小学校の核を失った地域住民の結束はどうなるか。

通学の不便なところは、通学バスの直行ルートとの検討と言うが、バス運転手の高齢化や運転手不足は深刻。
出生率が全国で1・20、山形県で1・24で、自治体間で子どもや若者の取り合いになり、藤島地域から子どもがいなくなる心配。
児童期の小学生と青年前期の中学生を1つの学校にまとめ、9年間同じ学校に通い、「発

JA庄内たがわ総代会 配当の経過

総代会	年	平成	出資配当	特別配当
1	1996	8	無	無
2	1997	9		
3	1998	10		
4	1999	11		
5	2000	12		
6	2001	13		
7	2002	14		
8	2003	15		
9	2004	16		
10	2005	17		
11	2006	18	0.5%	-
12	2007	19		
13	2008	20		
14	2009	21		
15	2010	22		
16	2011	23		
17	2012	24		
18	2013	25		
19	2014	26		
20	2015	27		
21	2016	28	無	無
22	2017	29		
23	2018	30		
24	2019	元		
25	2020	2		
26	2021	3		
27	2022	4		
28	2023	5		
29	2024	6		

JA庄内たがわ総代会 事業分量配当 米1俵50円

庄内たがわ農協（海藤喜久男組合長）の第29回通常総代会が6月24日（月）、いろいろ火の里なの花ホール（三川町）で開かれ、剰余金処分で8年ぶり、米1俵50円の事業分量配当金が承認されました。質問では、加藤鉦一総代が、農林中金の巨額損失や、米不足と米価、自給率向上を投げ捨てた改正基本法や、罰則付の有事食糧法、人減らしのスマート農業法、剰余金処分を取り上げました。
海藤組合長は、「配当は、昨年の米の取扱手数料引き上げに配慮した」と述べました。

各農協の出資金等の比較

	JA庄内たがわ	JA鶴岡	JAあまるめ
正1人当出資金	348,833円	288,325円	816,032円
正1戸当出資金	455,975円	436,965円	1,007,594円
正1戸当販売額	1,566,969円	3,107,454円	2,151,145円
正1戸当購買額	432,712円	1,794,956円	1,155,403円
自己資本比率	13.88%	14.92%	17.22%
出資配当		1.0%	1.0%
特別配当	米1俵50円	米1俵25円 青果物販売0.1% 産直品販売0.1% 畜産物販売0.1%	米1俵100円 園芸産直販売1.0% 飼料2.0% 農畜購買1.0% 農機軽トラ等1.0%

※JA庄内たがわの購買額は（株）あいとサービス除く

※JAあまるめの購買額はコープ除く。農機含む

（2024年度総代会・総会資料より）

達の飛躍」や「やり直し」が効かない、「ネガティブ」な生徒が多くなる傾向。

「『4・3・2制』では4年生が最高学年として機能しない」、「小学校高学年がリーダー性を発揮できない」（つ

くば市教育委員会。「子どもの意見表明権」が行使されていない。

藤島地域の将来の「明暗」を分ける委員会であり、学校統廃合の住民合意ができるか、注目すべきです。

山形の伝統こけし展パートII 石黒清一さんコレクション

東田川文化記念館企画展『山形の伝統こけし展パートII』が6月8日〜23日、ギャラリ一藤で開催されました。令和3年(2021)6月開催の『パートI』では、「誕生こけし」にスポットを当てた52人の工人の作品200点を展示。

今回も、石黒清一さん(78・藤島下町)が約50年かけて集めた「伝統こけし」のうち、県内の工人66人の約300点、温海のこけし工人の阿部進矢氏所蔵の作品や、松田博昭氏寄贈の記念館所蔵作品などが展示されました。

常設展示場を

22日と23日には、石黒清一さんによるギャラリートークが開かれ、「山形には8つの系統があるが、同じ作家のものでもそれぞれ違いがあり面白い。鶴岡市から伝統こけしの文化が消えてしまわないうちに、常設展示場を設けて欲しい」などと語りました。

「伝統こけし展」のこれまで

- ・2010年2月に、致道博物館で「東北の伝統こけしと木地玩具」
- ・2015年9月に、「温海の木地玩具展」
- ・2017年5月に、「遠刈田系のこけし展」



佐藤一夫・良子夫妻と小林定雄の世界

・2017年9月に、「伝統こけし展」11系統の世界

・2021年6月に、「山形の伝統こけし展」

・2021年9月に、鶴岡アートフォーラムで、K×I×Y3人展「温海の木地玩具」

・2022年6月に、「宮城の伝統こけし展」

・2023年2月4日〜3月5日に、「つるおが伝統こけしの今昔」が鶴岡アートフォーラムで

・2023年7月1日〜9日に、「青森と岩手の伝統こけし展」が、東田川文化記念館ギャラリ一藤で開催されました。

東田川史跡物語 『駐蹕之碑』の歴史的評価

青山 崇

①幕府から天皇へ
やはり「奥羽人民告諭」冒頭から考えざるをえない。

1868(明治2)年2月20日布達された。しかし、奥羽だけでなく全国各地にである。趣旨は、「天子様は、天照皇大神宮様の御子



山形系



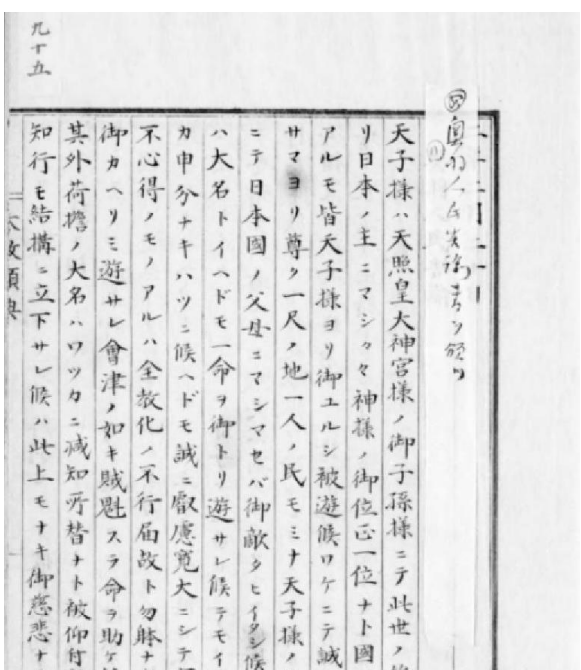
阿部進矢の作品

手を触れない



孫様にて、この世の始めより日本の主にましまし、神様の御位正一位など国々にあるもみな天子様よりお許し遊ばされ候わけにて、誠に神さまより尊く、一尺の地も一人の民もみな天子様のものにて日本国の父母にまします

のだ。
人民は天子様とは何者なのか知らないで(公方、將軍、藩主は知っている)、政府は正一位稻荷大明神・神様も天子様が任命するも教えて、その尊さを教えなければならなかった。



事故証明書

皆さんには、自動車

自動車安全運転センター山形県事務所」に手紙を出したのです。

での自分の事故証明を見るナンテ不幸な事はないでしょう。俺の場合には先に記したように、バイクの俺は、バイクの左側を追い抜こうとする車に吹っ飛ばされたのだが、車の持ち主が俺から金を出させる為に裁判にしたのです。その訴状についていた事故証明を、俺は不幸にも持っている事に。

▲その返事がこれ、原文です。「当事務所は、交通事故証明書の作成は全て警察から受けた交通事故証明資料に基づいており、独自の調査権限を有していないことから、事故類型等の交通事故証明書の内容についてのご質問は、当該交通事故を取り扱った警察署になされます。」となっています。

▲ところでこの証明書事故の類型を「出合い頭の衝突」としているのです。車がバイクの左側を追い抜こうとして、バイクの前輪をパンクさせる程突っ込んで俺を吹っ飛ばしたんですからサ、なぜ出合い頭なのでしょうかね。追突と接触もあるんですよ。なぜ出合い頭なのか詳しく説明してください。と証明書の発行元である「自

▲ビックリでした。早い話、証明書を出すのが仕事で、それ以外は分からないと言っているんだ。内容が判らないで証明書を出していたって事。職場には偉い人が一杯居るんですよ。変っている事務所じゃございませんか。これも、こんな事でも無ければ知る由もない事でしたが。

▲では、鶴岡警察署に手紙を。だ。(石川)